

**今できることを、精一杯に。**

校長 前田 達彦

先般、3月1日の卒業式で、皆さんの先輩である3年生を送りました。卒業生は、今年も全員が進路決定をしたうえで巣立っていきました。令和最初の島農卒業生144名は、今後はそれぞれの道に進み、それぞれの場所から母校のことや後輩である皆さんの事を思い、支えてくれることでしょう。

さて今年は、その「卒業式」が終わった直後、突然の臨時休校となりました。こうなるとは誰も予想していなかったでしょう。私もこの想定外の流れにとても戸惑いました。現在も様々な制限が続いていますが、「新型コロナウイルス」の感染が、これ以上拡大しないことを願うばかりです。

休校になったこの20日間を振り返って感じたことは、生徒の皆さんがいない静かな校舎、静まり返った学校というのは、思った以上に寂しく切ないものでした。普段は気づかなかったことです。高校には、やはり皆さん高校生が必要ということ、皆さんの存在が大切であることを、あらためて感じたところです。

この間、皆さんは何を感じたのでしょうか。急に当たり前の日常が、当たり前ではなくなって戸惑ってしまった人、学校で友達や先生と会う、勉強や部活動ができる、というありがたさを感じた人もいるでしょう。様々な思いあるのですが、どうか感染から身を守り、感染拡大を防ぐということを皆で意識し、実践するということが大切です。一人一人ができることを取組む、決して他人事とせずに、それぞれが努力したり、協力したりということを継続してほしいと思います。そして、高校生として学校に登校できて、勉強や部活動に打ち込めることのありがたさやその大切さを少しでも感じ、また考えながら、今後の努力に繋げてほしいと思います。

それぞれ、次の学年に進級する皆さんは、4月には新1年生を迎えることとなります。新しい「3学科」のスタートです。皆さんは、先輩と呼ばれるにふさわしい凛とした態度で後輩たちに接してほしいと思います。いろんな場面で「さすが、先輩たちは凄いな」と思わせてください。皆さんに期待しています。

明日から春休みに入ります。感染防止のための制限が残る中、いつもと違う春休みになるかもしれません。ただ、総合実習（農場当番）や部活動も多少の制限はかかりますが実施できるようになりました。どうか、新学期の準備とともに、「今できることを、精一杯に。」全力で取り組んでほしいと思います。

生徒の皆さん、先生方が、そろって元気に「新学期」を迎えられるよう期待しています。

(第3学期終業式 校長訓話より抜粋)